

令和3年度屋久島世界自然遺産地域等における森林生態系に関する
モニタリング調査等計画

1 屋久島東部等地域の垂直方向の植生モニタリング調査

屋久島東部等地域（愛子岳登山口の低標高地点から山頂付近まで）の垂直方向の植生モニタリング調査（標高200mから1,200mの6箇所130プロット、植生調査、群落配分図(横断面図)の作成、衰退樹木等調査、ヤクシカ生息密度調査等）を行い、調査結果を取りまとめる。また、今回と過去4回(平成13、18、23、28年度)とを比較・分析し、動態予測を行い評価する。

【屋久島垂直方向モニタリング位置図】



2 高層湿原の植生状況モニタリング調査等及び保全対策の実施

- (1) 小花之江河における植生保護柵設置後の植生回復調査
- (2) 水の収支、地下水、水温・気温等モニタリング調査
- (3) 湿原形状の調査及び、木道下調査
- (4) 花之江河における試行的保全対策
- (5) 高層湿原保全対策検討会の実施（11～12月頃開催予定）

3 森林生態系における気候変動の影響のモニタリング調査

気候変動による屋久島世界自然遺産地域への影響について、「世界自然遺産「屋久島」の森林生態系における気候変動の影響モニタリング調査内容一覧」により、各機関のモニタリングデータの収集、気象庁アメダスによる気候変動等のデータの収集・分析等を行い、動態予測及び脆弱性の評価をする。

4 著名ヤクスギ樹勢診断

著名ヤクスギの生育状況、倒木等の危険度を判断する著名ヤクスギの樹勢診断を実施する、

○調査予定木：八本杉（大川林道沿い）

